

岐阜県土岐市

新庁舎建設
プロジェクト

**WORKSHOP
REPORT**

2016.1.15



DAY 1
2015.12.17



DAY 2
2016.1.15



DAY 3
2016.2.9

第2回目は、新しい庁舎で生まれてくる新しい魅力を、より具体的に考えました。

Day2

まずは前回のふりかえりをし、「市民と関わりの多い庁舎」をめざすこと、そしてそのために「6つの場」を大切にしたいことを共有しました。その後、現庁舎について、ここがいいと思う点と、ここがもう少しと思う点を発表し合い、模造紙にまとめました。会の後半では、6つの場をもとに5つのチームに分かれ、新庁舎ならではの魅力とそこでの活動について考えました。

PROGRAM 1

13:30～

前回のふりかえり

前回の内容をまとめたニュースレターを配り、話し合った内容について共有しました。新庁舎には「6つの場」が必要であるということ、そして、行政に頼りすぎず、自分たちの手で未来をつくっていく、という意識を共有しました。



ニュースレターを配布し、説明

PROGRAM 2

13:45～

ワーク 現庁舎について意見を共有しよう

続いて現庁舎について、「ここがよい」と思う点と「ここがもう少し」と思う点について意見を出し合いました。壁一面に模造紙を貼り、各階ごとに意見を整理していきました。



現庁舎への思いを付箋に書き壁に貼っていく

PROGRAM 3

14:15～

チーム分けのためのゲーム

(長男・次男・末っ子・一人っ子／水戸黄門)

5つのチームに分かれる前に、お互いをより知るためのゲームに取り組みました。このゲームを通じて、よりよい意見を出し合うためには多様なメンバーが集まる大切であることを伝えました。



それぞれの中身を見せ合い確認し合う参加者

PROGRAM 4

14:50～

ワーク

新庁舎ならではの魅力について考えよう

前回のワークのまとめから見えてきた「6つの場」に基づき、5つのチームに分かれて取り組みました。

学び・生きがい
につながる場

情報が体験
できる場

人が集まり
たくなる場

いつでも
来やすい場

市民と行政の
距離を縮める場

それぞれの「場」を実現するために、
どのような要素が必要か考えよう！

コト

ヒト

モノ



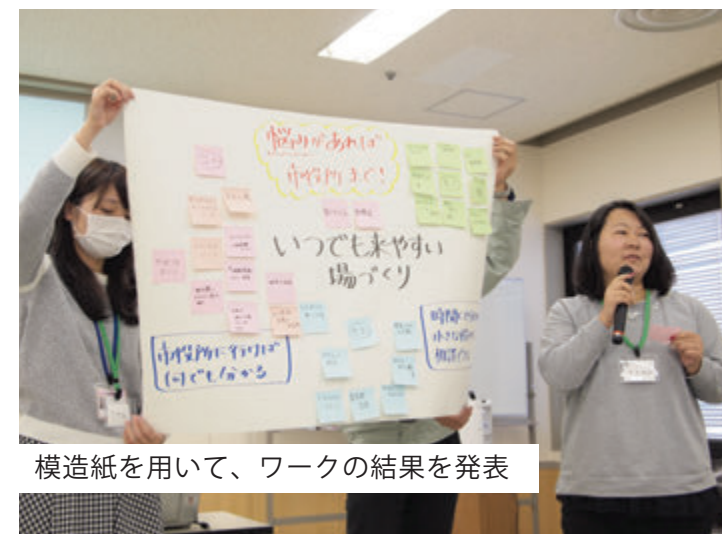
チームに分かれて各テーマについて議論を深める

PROGRAM 5

15:40～

発表・共有

各チーム毎にワークで検討した内容を模造紙を使って美しくまとめ、その後お互いに内容を発表しました。



模造紙を用いて、ワークの結果を発表

現庁舎について意見を共有しよう！

現庁舎について、「ここがいい（魅力）」「ここがもう少し（課題）」と思う点を挙げてもらい、各フロア毎にそれらの意見をまとめました。

建物全体／周辺環境

文化プラザの有効活用

- + 会議室が充実している
- 空いている部屋がありもったいない

使い勝手の良さ

- + フリーWi-fiがある
駐車場が広い
カウンターの高さが利用者に合わせてある
- トイレの入口を男女で分けてほしい
洋式トイレがほしい
トイレの手洗い場とは別に化粧台があるとよい

快適な環境

- + 職員の方の対応が明るい
全体的に静かで落ち着いた雰囲気
- 緑が少ない
冷暖房の効きがあまりよくない
各課のつながりをもっとつくってほしい
全体的に暗い
防災面での安全安心度が足りない

B1F

食堂の環境

- + レトロ感があり落ち着く
- 食堂をもっと明るく（太陽光）

更衣室・休憩室の環境

- 更衣室が狭くて使いにくそう
休憩室と食事場所を充実させる

使い勝手の良さ

- 階段が急で危ない

1F

使い勝手の良さ

- + 1階でほぼ全ての用事を済ませることができる
- 市民のリラックスできるスペースが少ない
各課の相談スペースが狭い
食堂がない
通路が狭く、小さい子や障がいのある方は不便
各課の表示板が小さくてわかりづらい
受付がわかりにくい
玄関ホールが狭く、土岐市のアピールも不足
会議室が少なく、プライバシーを確保できていない
相談窓口の仕切りの高さが低い
バラバラで美しくない
掲示物の整理が必要

快適な環境

- + 南側の日当たりがよい
- 冬になると受付やロビー空間が寒い
トイレ入口の木の扉が危ない
トイレがバリアフリー化されていない
衛生的でない
明るさが足りない

玄関ホールの環境

- + 受付の方の愛想がよい
受付と職員席の距離が近くすぐに気づいてもらえる
玄関ホールに誰でも使える打合せ場所がある
- 高齢介護課が一番奥にあり、年配の方が行きにくい
玄関の展示スペースが少しさみしい

2F

使い勝手の良さ

- + 狭くて収納スペースが少ないが工夫されている
見通しがよい（案内板など）
- 待っている人が座れるソファや椅子があるとよい
ポスターやパンフレットの掲示がバラバラ
書類を収納する棚の高さがバラバラで美しくない
各課のスペースが狭く込み入っている
カウンターの高さが高い

快適な環境

- + 南側の日当たりがよい
- 廊下が暗い
トイレが男女別になっていない
トイレがバリアフリー化されていない

3F

会議室の環境

- + 立派すぎる会議室
大会議室の壁が木壁で温かい感じがしてよい
3階からの景色がよい
- 南側の会議室は明るいがあまり利用されていない

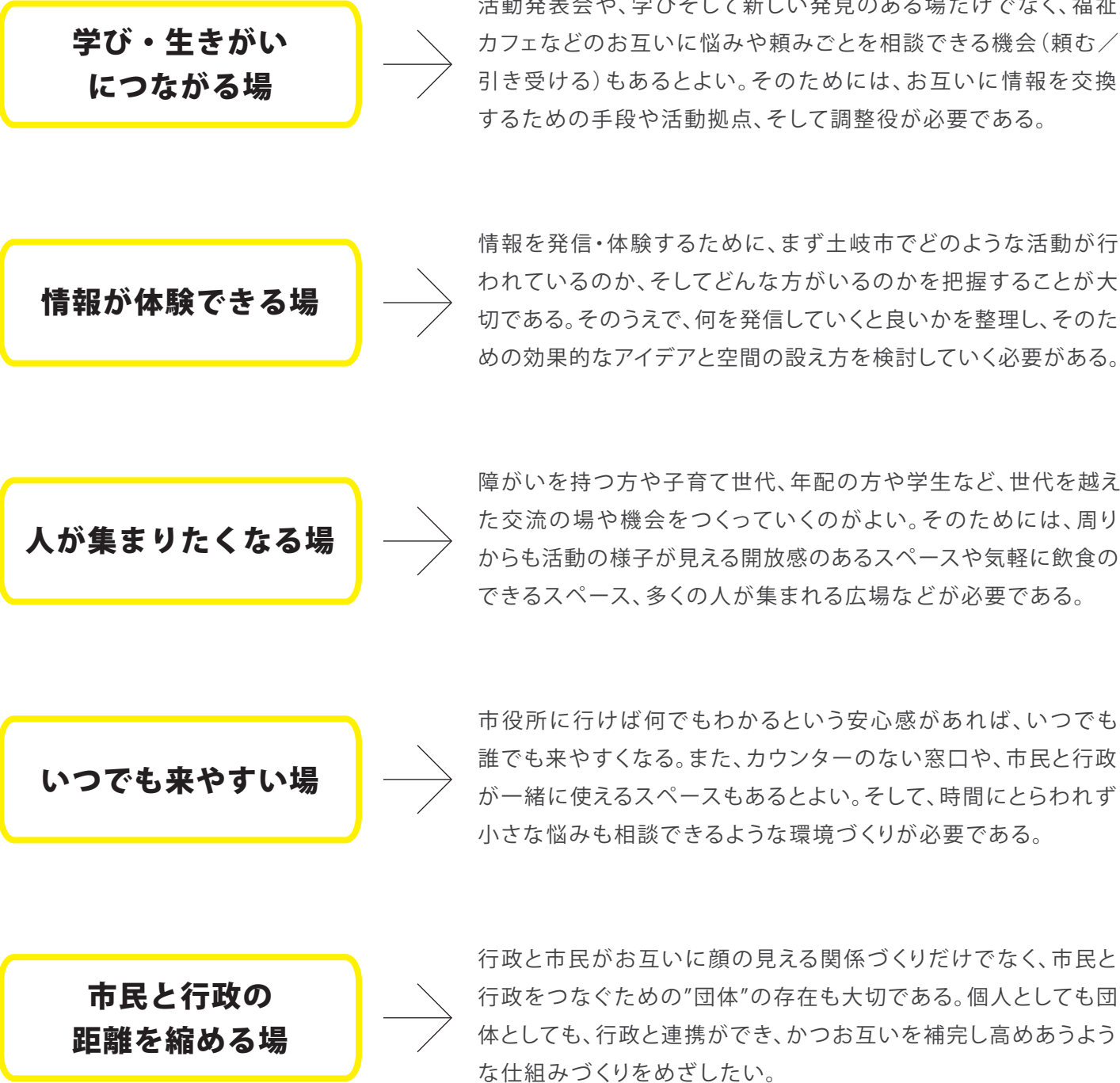
議場の環境

- + 重厚な雰囲気があってよい
- 風通しがよくない
使用率が低くもったいない



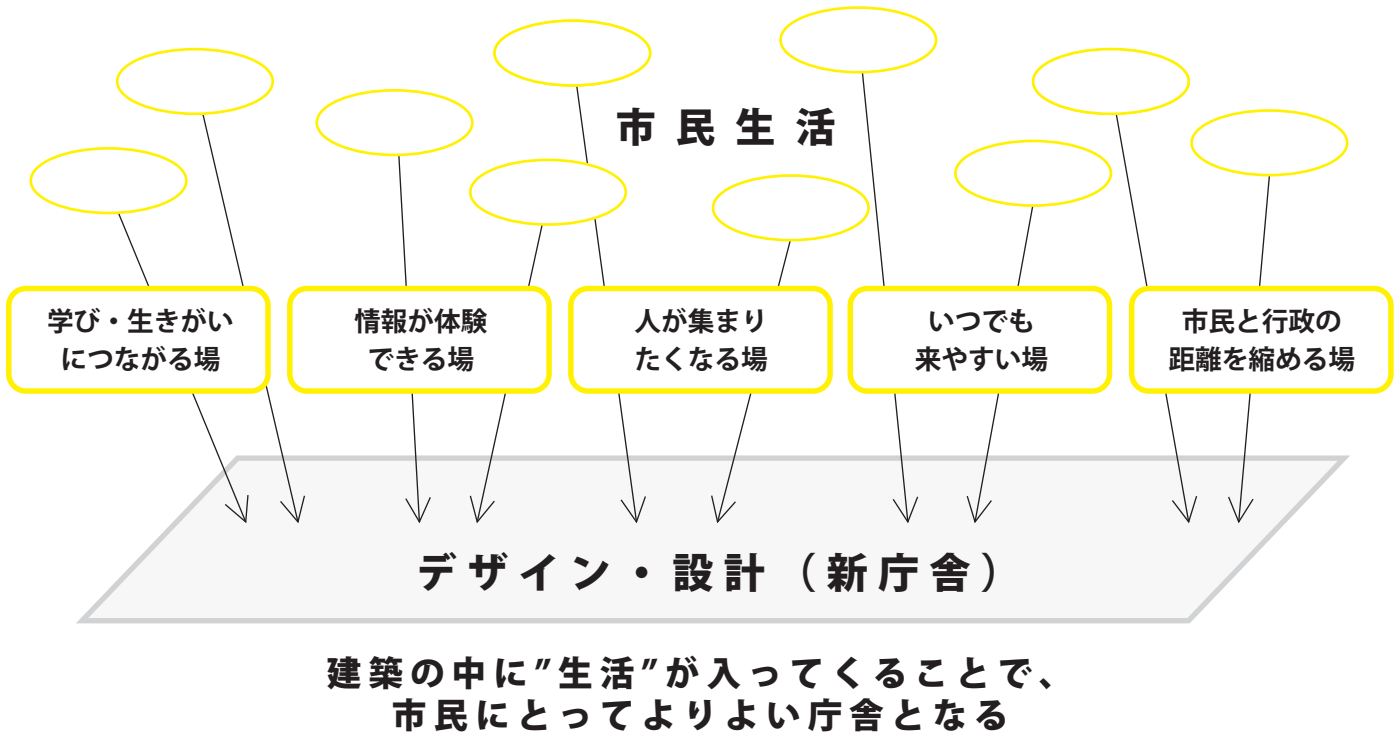
新庁舎ならではの 新しい魅力について考えよう！

前回のワークのまとめから見えてきた「6つの場」に基づいた5つのチームに分かれ、その場をより魅力的にするための具体的なアクションである「コト」、そして、その場を実現するために必要となる「ヒト」「モノ」について、それぞれの場毎に考えました。



新庁舎のコンセプト

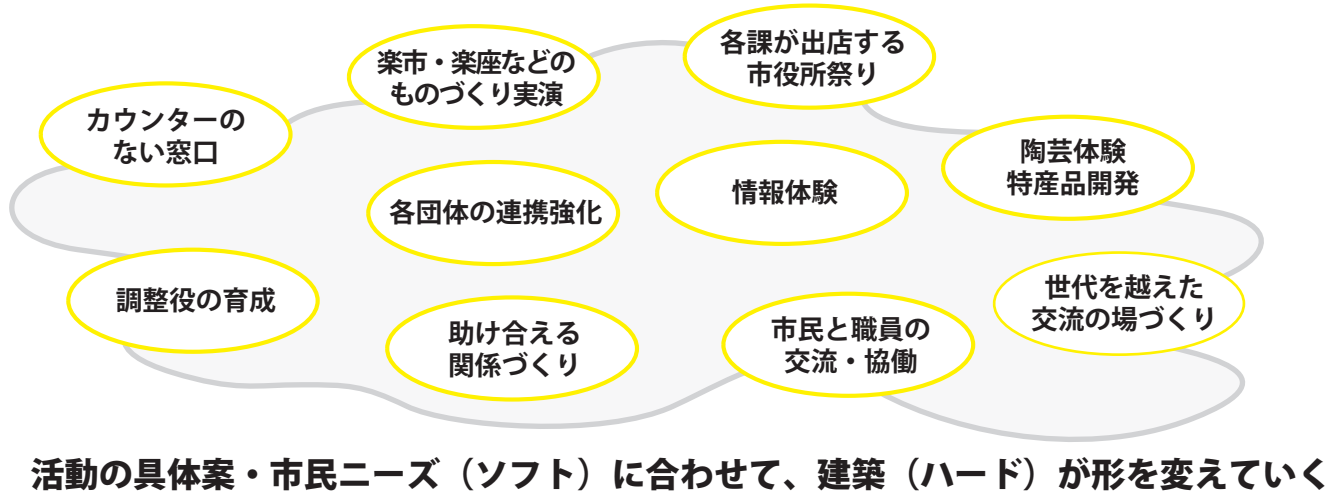
前回と今回のワーク結果を踏まえ、新しい庁舎のコンセプトについてまとめました。



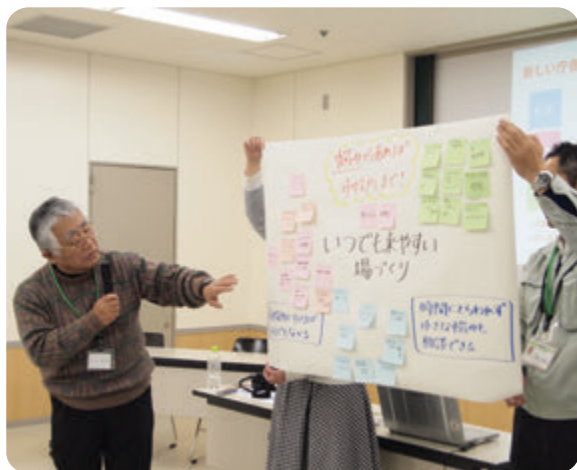
concept

“生活”を豊かにする市庁舎

“生活”から新しい庁舎を考えよう！



WORKSHOP PHOTO



参加者の声

庁舎だけではなく
文化プラザについても考えていかないと
いけないと感じた。

1回目より発言が多くなった。
参加者から出る言葉が
土岐市のことを思っている言葉
ばかりで感動した。

みんなが考えている市役所の形に
共通の想いがあることがわかり、
ますます新庁舎への期待が膨らむ。

具体的な新庁舎像が
少しずつイメージできてきた
ように感じる。

自分たちの意見が現実になると
さらに土岐市が好きになると思う。

グループワークを通して、
自分たちが新庁舎に求めていることが
はっきりしてきた。

若い人、年配者、
様々な年齢層がいることが
とても良いことだと思う。

各種団体が協力すること
が大切だと感じた。